

授業科目	教育心理学				実務家教員担当科目	-	
単位	2.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	中島 俊介						
授業概要	<p>教育心理学は、大学で学ぶ教職科目のうちもっとも重要な科目の一つである。児童・生徒の教育にあたって、子どもや保護者や同僚の「心理」をとらえなければ、その責任と使命は全うすることはできない。この授業では、教育に関わるテーマを心理学的側面からアプローチし、解説する。具体的には、教育心理学の歴史と研究方法、学習メカニズム（記憶、知識と問題解決、学習、人間の発達、知的発達、発達障害）、学習活動にかかわる要因（原因帰属、動機づけ）、人間関係（学級という社会、人格発達、カウンセリング）、指導と評価（学習指導、教育評価）を取り上げる。なお、この授業は対面授業として実施する。</p>						
授業形態	講義。			授業方法	グループ・ワーク。		
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	<p>(1) 幼児、児童及び生徒の心身の発達に対する内外要因の相互作用、諸発達理論を踏まえ、発達概念及び教育における発達理解の意義を理解することができる。</p> <p>(2) 乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、その具体的な内容を説明することができる。</p> <p>(3) 様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。</p> <p>(4) アクティブラーニングを支える動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴を関連付けて説明できる。</p> <p>(5) 幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的学習活動を促す効果的な指導の基本的な考え方を説明できる。</p> <p>(6) 学習のメカニズム（どのように人は発達して、学習し、考え、記憶するのか）の過程を説明できる。</p> <p>(7) 学習活動にかかわる原因帰属や動機づけのタイプを説明できる。</p> <p>(8) 児童・生徒との関わり方のタイプや人格発達の過程を説明できる。</p> <p>(9) 授業形態や評価法を説明できる。</p> <p>教育心理学の基本的な知識を身につけ、それを人に説明することができる。文献や教育のことについて、人に説明することができる。</p>						
理想的レベル	<p>教育心理学の基礎的な知識と応用についてよく理解し、現実の教育場面の様々な課題を考える、実行することができる。教育実践の問題や文献の内容について説明し、他者に正確に伝えることができる。</p>						
評価方法・評価割合							
	評価方法	評価割合（数値）			備考		
	試験	60%					
	小テスト						

レポート	30%										
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物	10%										
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NU24103J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
予習；シラバスを読んでおく。 復習；該当部分の復習										4	
授業計画											
第1回	第1回：テーマ「オリエンテーション・教育心理学で学ぶこと」（中島俊介） 教師の役割と使命について理解を深めるよう促す。幼児、児童及び生徒の心身の発達を学ぶ意義について説明する。										
第2回	第2回：テーマ「発達の初期」（中島俊介） 幼児と学童期の発達について代表的理論に沿って講義する。										
第3回	第3回：テーマ「発達の中学・高校期」（中島俊介） 中学生期と高校生期の発達についてその特徴を説明する										
第4回	第4回：テーマ「学習と動機付け」（中島俊介） 心理学から見た学習に関する基礎的知識と代表的理論を講義										
第5回	第5回：テーマ「学習のメカニズムと忘却」（中島俊介） 記憶と学習の関係や忘却の理論について説明する。										
第6回	第6回：テーマ「学び方の方略」（中島俊介） 学習効果・学習効率をあげる学習方略（心的操作）を講義する										
第7回	第7回：テーマ「学び方にハンディーのある子どもについて」（中島俊介） 最新の発達障害研究の知見を紹介する。										
第8回	第8回：テーマ「様々な学習形態や概念について」（中島俊介） 発見学習・仮説実験授業・プログラム学習などの多様な学習形態を説明しその効果について講義する。										
第9回	第9回：テーマ「教育評価について」（中島俊介） 主体的学習を支える学習評価について講義する。										
第10回	第10回：テーマ「集団づくりと学級経営」（中島俊介） 集団の種類、集団の特徴を把握する心理検査、集団の力学について説明する。										
第11回	第11回：テーマ「教師と子どもとの関係」（中島俊介）										

	教師のリーダーシップについて。人権への配慮。ピグマリオン効果など教師と子どもの良好な人間関係について講義する。
第12回	第12回：テーマ「教育相談の手順と技能」（中島俊介） 各発達時期における運動・言語・認知・社会性の発達は当然個人差があるそれゆえ様々な悩みや学校生活の生きづらさが生ずる。それらの相談にあたる際の基本的スキル（カウンセリングの技法など）について講義する。
第13回	第13回：テーマ「生徒指導と進路指導」（中島俊介） いじめ・不登校などの最新の知見について講義する。ライフキャリアの形成についての心構えについて説明する。
第14回	第14回：テーマ「特別支援の理解と心理」（中島俊介） LD・AD/HD・ASDの理解と支援について講義する。その他の障とく（視覚・聴覚）についての説明をする。テーマ2「今期の講義のまとめ」大事な点を再度確認する。
第15回	第15回；テーマ「これまでの学習のまとめと振り返り」（中島俊介） それぞれの学びを交換して未来への展望を拓く。
テキスト	「ガイドライン学校教育心理学…教師としての資質を育む」大野木裕明他著 ナカニシヤ出版
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「君たちはどう生きるか」吉野源三郎著 マガジンハウス
課題に対するフィードバックの方法	レポート・小テストの模範内容を公開する。
学生へのメッセージ・コメント	教壇に立たなくても、日常の生活で「人に教えたり、示唆したりすること」はある。教育の営みは身近にある。普段から教育に関する心理学的な視点から考える習慣を身につけてもらいたい。 学校で学んでいる現在を活かしてもらいたい。身近な大学の教員にも気軽に雑談を行い。教師のあり方や心構えについて意見を聴いてもらいたい。授業では「映像」を多く見てもらう。知識だけではなく心で感じてもらいたい。